



ひろせ・すず 1998年生まれ、静岡県出身。出演映画「海街diary」が6月に公開。

大きな瞳とはじけるような笑顔が、見るものを引きつける。結婚情報誌のCMなどで注目を集め、飛躍が期待される16歳の広瀬すずが、演技を始めて2年足らずで連続ドラマ「学校のカイタン」(KTYTなど)日本テレビ系、土曜夜の主演に抜てきされた。



フォルテシモ

### 同世代に共感してほしい

「学校のカイタン」主演

広瀬 すず

毎回のハイライトは「とにかくずーっとしゃべっている」という演説の場面だ。「せりふの一つ一つがぐさぐさくる。特に同世代の方に『自分ならどうするだろう』って考えながら、じつくり見てもらいたい」

「薩摩フルートの会」の「ウィンターコンサート」が12日、かこしま県民交流センター県民ホールで開催された。同会は2009年、フルートに携わる10人の演奏家・指導者によって結成された演奏・研究団体で、現在の会員は50人を数える。

### 薩摩フルートの会 ウィンターコンサートを聴いて

久保 禎



### 初春彩る気品と華やぎ

「5分で『交響曲第9番』と『展覧会の絵(5分でめぐる)』は、作品のエッセンスを失わずに超コンパクト化を試みた編曲版だが、啓蒙的意義は大きい。8人で奏されたシヨパン「別れの曲」は、フルートの敏捷性と歌謡性を生かした演奏で、ピアノとは異なる色彩表現が満席の聴衆の心をつかんでいた。

「5分で『交響曲第9番』と『展覧会の絵(5分でめぐる)』は、作品のエッセンスを失わずに超コンパクト化を試みた編曲版だが、啓蒙的意義は大きい。8人で奏されたシヨパン「別れの曲」は、フルートの敏捷性と歌謡性を生かした演奏で、ピアノとは異なる色彩表現が満席の聴衆の心をつかんでいた。